

# さくらの学舎

～学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい～

発行日：令和7年8月29日（金）

発行者：校 長



☆美九里西小学校ホームページ「学校日記」では、子供たちの頑張る姿を  
紹介していますので、ぜひご覧ください。

美九里西小ホームページ QR コード→



「心のスイッチ」をオンにして・・・！

2学期も「学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい」に！

夏休みが終わり、子供たちは、元気に2学期を迎えることができました。やはり、学校の主役は子供たちです。子供たちの明るく元気な声、笑顔いっぱいの優しい表情は、学校を輝かせます。そんな素晴らしい2学期初日を迎えることができたのも、保護者の皆様、地域の皆様に平日頃より温かく子供たちを見守っていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

さて、本日の始業式では、この夏の甲子園で、生まれつき左手指がないハンデを乗り越えて自らの目標を実現させた岐阜県立岐阜商業高校の横山温人選手の姿について、子供たちと一緒に考えました。また、「心のスイッチ」という詩を紹介しました。

子供たちは今、2学期の目標をしっかりともち、「よし、がんばるぞ！」と、やる気いっぱいです。たくさんの可能性、大きな力をもっている子供たち一人一人が、「心のスイッチ」を入れて、自分の力を発揮し、夢や目標に向かってあきらめずに進んでいくことができるようにするには、私達大人の役割も重要です。子供たちは自分の頑張りがほめられたり、頑張ろうとする気持ちを認めてもらったり、時には助けてもらったりすることで、さらにやる気いっぱいになり、自分の力で前進することができるようになるのだと思います。

学校では、新たな気持ちで「よし、やるぞ！」という気持ちを強くしている子供たちを全職員一丸となって応援していきます。2学期も、ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

## 心のスイッチ

この詩の作者である東井義雄さんは、著書の中で次のように言っています。  
「人間は五千通りの可能性をもって生まれてくる。その可能性の中から、どんな自分を取りだしていくか。みなさん一人一人がその責任者なのです。」「世界でただ一人の私」を、どんな「私」に仕上げていくか。その責任者が「私」であり、「私」とはみなさん一人一人なのです。



人間の目は ふしぎな目

見ようという心がなかったら

見ていても見えない

人間の耳は ふしぎな耳

聞こうという心がなかったら

聞いていても聞こえない

頭もそうだ

はじめから

よい頭 悪い頭の

区別があるのではないようだ

「よし やるぞ！」と

心のスイッチがはいると

頭もすばらしいはたらきをしはじめる

心のスイッチが人間を

つまらなくもするし

すばらしくもしていく

電灯のスイッチが

家の中を明るくもし

暗くもするように

東井 義雄（ごい よしお）「人生の詩（抜粋）」

みんなはどんなときでも、ちがいをくねる

いろいろな 「心のスイッチ」を、もっているんだ。

ゆきほれき、あせしや、あきらめなまきち、などなど、

じれも、みんな

まなびのスイッチが、はいるとき、

すばらしい、えがき、はいるとき、

すばらしい、えがき、はいるとき、

すばらしい、えがき、はいるとき、

すばらしい、えがき、はいるとき、

夏休みの面談では、お世話になりました。

夏休みの二者面談では、大変お世話になりました。お子さんの1学期の頑張りをもとにお話ができたと、また、お子さんのさらなる成長を願う保護者の方と担任の思いがつながり、とても有意義な時間となりました。今後も、何か心配なことや相談等がありましたら、遠慮なく担任にお声がけください。よろしく願いいたします。